

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 5 2 1 6)
 問 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 関 根 紀 幸
 電 話 0 2 2 8 3 2 5 1 1 1

平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 26 日付当社「平成 20 年 12 月期決算短信」にて発表いたしました平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）の第 2 四半期累計期間及び通期業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間予想の修正

平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間の予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 第 2 四半期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 21 年 2 月 26 日公表)	4,200	300	360	850	85 円 92 銭
今 回 修 正 (B)	5,700	300	360	850	85 円 92 銭
増 減 額 (B - A)	1,500	0	0	0	0 円 00 銭
増 減 率	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ご参考)前年同四半期実績 (平成 20 年 6 月中間期)	12,029	532	462	589	59 円 57 銭

平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間の予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高*	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり第 2 四半期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 21 年 2 月 26 日公表)	3,000	1,800	300	360	850	85 円 92 銭
今 回 修 正 (B)	4,700	2,100	300	360	850	85 円 92 銭
増 減 額 (B - A)	1,700	300	0	0	0	0 円 00 銭
増 減 率	56.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ご参考)前年同四半期実績 (平成 20 年 6 月中間期)	9,552	4,897	208	145	871	88 円 10 銭

*加工売上高：売上高から材料費を除いた加工金額ベースの売上高

2. 通期業績予想の修正

平成 21 年 12 月期の連結通期業績予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成 21 年 2 月 26 日公表)	8,500	0	0	700	70 円 76 銭
今回修正(B)	12,500	0	0	700	70 円 76 銭
増減額(B-A)	4,000	0	0	0	0 円 00 銭
増減率	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ご参考)前年実績 (平成 20 年 12 月期)	21,641	250	44	287	29 円 01 銭

平成 21 年 12 月期の個別通期業績予想（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高*	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成 21 年 2 月 26 日公表)	6,000	3,600	100	200	700	70 円 76 銭
今回修正(B)	10,000	4,900	100	200	700	70 円 76 銭
増減額(B-A)	4,000	1,300	0	0	0	0 円 00 銭
増減率	66.7%	36.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(ご参考)前年実績 (平成 20 年 12 月期)	16,971	8,872	60	244	182	18 円 43 銭

*加工売上高：売上高から材料費を除いた加工金額ベースの売上高

3. 修正理由

〔個別〕

個別の売上高は、材料が有償支給である製品（[カラーフィルタ基板加工品]や[成膜ガラス基板]）の受注が当初予想より増加する見込みのため、第 2 四半期累計期間および通期の売上高をそれぞれ 1,700 百万円、4,000 百万円上方修正し、4,700 百万円、10,000 百万円といたします。また、加工売上高においても、それぞれ 300 百万円、1,300 百万円上方修正し、2,100 百万円、4,900 百万円となる見込みであります。

利益面においては、足元で液晶パネル過剰在庫解消の動きが見られ、今後の受注回復やコストダウンによる利益回復を見込んでいるものの、有償支給である材料費の負担増に加え、世界的な液晶搭載製品の販売不振の波を受けた第 1 四半期の赤字幅が当初予想よりも拡大したことが影響し、第 2 四半期累計期間および通期の営業損益・経常損益・当期純損益の見込み額の修正はありません。

〔連結〕

連結売上高の修正については、個別の売上高の増加に伴うものであります。

連結の利益面においても、〔個別〕に記載の理由により、見込み額の修正はありません。

以上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。